

平成 30 年度 第 2 回射水市子ども・子育て会議

第 2 回射水市子ども施策推進委員会 議事要旨

1 開催日時 平成 31 年 2 月 5 日（火） 午後 7 時 00 分～午後 8 時 30 分

2 開催場所 射水市役所本庁舎 3 階 会議室 302

3 出席者

(1) 子ども・子育て会議委員

石津委員（会長）、櫻野委員（副会長）、明橋委員、成田委員、上田委員、宮田委員、石黒委員、土合委員、小川委員、立浪委員、森田委員、二川委員、前川委員、佐野委員、武部委員

(2) 当局

福祉保健部長、福祉保健部次長、子育て支援課長、学校教育課長、生涯学習・スポーツ課長、子育て支援課職員 4 名、保健センター職員 1 名、生涯学習・スポーツ課職員 2 名

4 欠席者 清水委員、中島委員

会議次第

1 開 会

2 挨拶

3 議 事

(1) 第 2 次射水市子どもに関する施策推進計画について

(2) 平成 31 年度 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用定員について

(3) 射水市子ども・子育て支援事業計画関連について

4 報 告

(1) 射水市の子ども・子育てに関するニーズ調査結果について

(2) 大門わかば幼稚園の認定こども園化について

5 その他

(1) 幼児教育・保育の無償化の主な概要等について

6 閉 会

議事要旨

(1) 第2次射水市子どもに関する施策推進計画について

質疑無し

(2) 平成31年度 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用定員について

質疑無し

(3) 射水市子ども・子育て支援事業計画関連について

(委員) 放課後児童健全育成事業について、子どもの数はだんだん増えているが、職員の数が充足しているのかお聞きしたい。

(委員) 支援員一人あたり子ども20人を目安としている。私の所属するクラブは、現在95人の子どもがいる中、常時6人、非常勤を含めて9人体制で対応しており、単純計算で、最大120人の子どもを見ることができる状況である。

私の所属するクラブの職員は平均年齢が低い。私自身も放課後児童支援員認定資格研修に参加したが、40代が1人~2人であり、60代、70代以上の方も研修を受けられていた。60代、70代以上の方もいないと、確保できない状況ではあると思われる。若い方に支援員をしていただくには、給与面や時間確保の面で難しい所もあり、他の学級では大変苦勞されていると思われる。

(会長) 実際に基準をクリアしているかというご質問と、実際には足りていない感覚をお持ちだということである。人員確保の問題についてお答えいただきたい。

(事務局) 学級によっては少ない支援員でローテーションを組みながら対応していただいている。しかし、必ず支援員は2人配置している。支援員が少ない学級に関しては、広報やホームページ等を利用して、職員の募集を行っている。

(委員) 資格研修修了者である保育士、幼稚園教諭、小学校教諭の免許を持っている方が支援員として働かれているのか。

(事務局) 保育士、幼稚園教諭、小学校教諭の免許を持っている方だけではなく、高校卒業後2年以上放課後児童クラブに勤められている経験者も研修を受けることができる。

(委員) 保育士、幼稚園教諭、小学校教諭の免許を持たず2年以上放課後児童クラブに勤められている方だけで放課後児童クラブを運営することもできるのか。

(事務局) そのとおりである。保育士等の資格がなくても、支援員の研修を受けて放課後児童支援員になることができれば問題ない。

報告要旨

(1) 射水市の子ども・子育てに関するニーズ調査結果について

(委員) 高学年になってからも放課後児童クラブを利用したい保護者が2割いる。普段は5時まで開所し6時まで延長預かりをしているが、大体のお子さんが5時で帰宅する。高学年は6限目までであるとほとんど児童クラブで過ごす時間がない。また子どもたちは、放課後に学校から帰ってから友達と遊ぶコミュニティができています。

高学年の児童が放課後児童クラブを利用する際には、もしお子さんが友達と遊びたいと言った場合は、例えば毎週水曜日だけは休ませてあげるなど、お子さんの自由度を少し考えてほしい。保護者の20%が利用したいという希望があるからと言って、全員入れるという考え方ではなく、お子さんが健やかに過ごすための放課後児童クラブの利用であってほしい。

(2) 射水市立大門わかば幼稚園の認定こども園化について

(委員) 近年児童数が減少しており、施設の有効利用の観点からやむを得ないということで、保護者から特段反対する意見は見られなかった。しかし、大門・大島地区で幼稚園を希望すると、大門わかば幼稚園しかなく、幼稚園を選択したい親もいることから、このまま幼稚園型を継続してほしいという意見が多数みられた。またこども園化にあたり、これまで通り質を落とすことなく、現状維持のまま幼稚園型の運営でやってほしいという意見が出ていた。

(事務局) 幼稚園型認定こども園の形で進める予定である。また、幼稚園で取り組んでいる行事等についてもそのままの形を考えているため、安心いただきたい。

その他要旨

(1) 幼児教育・保育の無償化の主な概要等について

(委員) 食材料費など実費徴収について、それぞれの園で状況が多少異なると思われるが、射水市の方で決めていただくのではなく、各園あるいは園長会に諮っていただき、ある程度協議に参加させていただけるとありがたい。